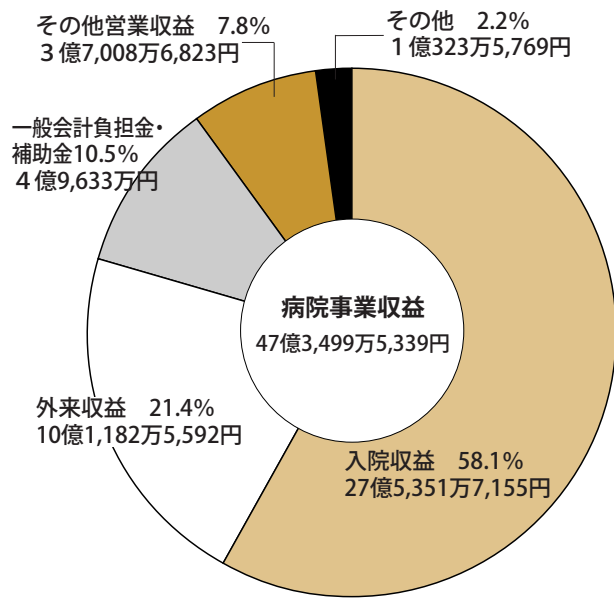


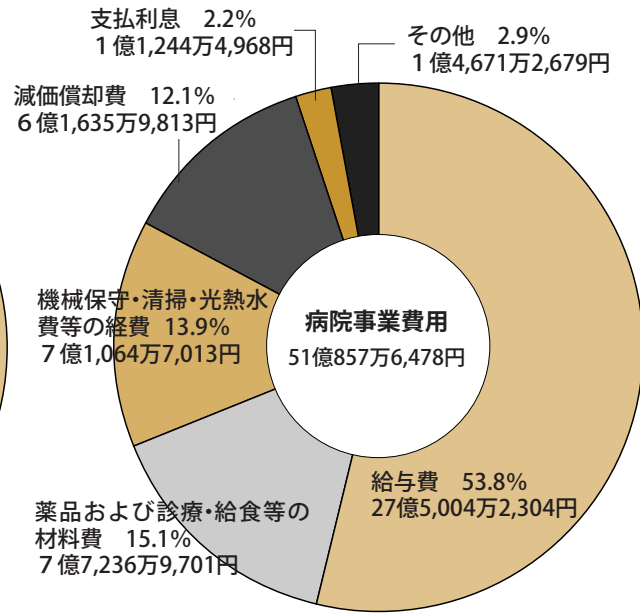
平成27年度 芦屋病院事業会計決算

問い合わせ 芦屋病院 ☎31-2156

●病院事業収益



●病院事業費用



よりよい病院づくりを 目指して

平成27年度は、入院患者数61,064人と前年度より、701人減少、外来患者数82,807人と前年度より549人増加しました。

経営状況は、病院事業収益47億3,500万円、病院事業費用は51億858万円で差し引き3億7,358万円の純損失(前年度11億9,886万円)となり累積欠損金は112億4,486万円となりました。

なお、前年度は、地方公営企業法施行令等の改正に伴う過年度の特別損失(退職給付引当金等)が8億6,005万円含まれています。これを除くと3億3,881万円の純損失となり、本年度の純損失は、前年度より3,477万円の増加となっています。

●平成27年度 芦屋病院会計決算

	平成27年度	平成26年度	増減	
入院	延べ患者数	61,064人	61,765人	△701人
	1日平均患者数	166.8人	169.2人	△2.4人
	病床稼働率	83.8%	85.0%	△1.2%
外来	延べ患者数	82,807人	82,258人	549人
	1日平均患者数	340.8人	337.1人	3.7人
	診療日数	243日	244日	△1日
病院事業収益	47億3,500万円	47億6,097万円	△2,597万円	
病院事業費用	51億858万円	59億5,983万円	△8億5,125万円	
純損益	△3億7,358万円	△11億9,886万円	8億2,528万円	
※その他未処分利益剰余金変動額	—	1億2,367万円	皆減	
累積欠損金	112億4,486万円	108億7,128万円	3億7,358万円	

※その他未処分利益剰余金変動額
地方公営企業法施行令等の改正に伴い、補助金等により取得した固定資産の過去の減価償却済額に対応する収益化済額



地域連携室

本年度は「市立芦屋病院中期経営計画」のキーワード「生活の質(QOL)の向上」を目指し、超高齢社会を迎える本市の地域特性にそって「地域完結型医療」の実現に向けて

「地域完結型医療」の実現と 診療機能の充実へ

本年度は「市立芦屋病院中期経営計画」のキーワード「生活の質(QOL)の向上」を目指し、超高齢社会を迎える本市の地域特性にそって「地域完結型医療」の実現に向けて取り組んでまいりました。

具体的には、看護部門において、熟練した看護技術と知識を有し、水準の高い看護が実践できる、「認知症看護認定看護師」、「慢性不全看護認定看護師」の2分野について養成コースの課程に合格しました。

また、がん治療においては、専門的な機能を有する医療機関として地域におけるがん治療の中心的な役割を担い、患者さんに質の高い医療を提供できる病院である「がん治療連携拠点病院に準じる病院」の認定を受けました。

その他の診療機能の充実としましては、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病の増加とともに、心臓病や動脈硬化性疾患の早期診断が重要となっていることから心臓病の早期発見と予防のために「循環



リハビリテーション科

器ドック」を開設、高齢化に伴って増加している嚥下障害の患者に対応するために、消化器内科・リハビリテーション科・栄養科が連携し、「嚥下栄養外来」を開設、勉強しても文字が覚えられない、読み誤りや読み飛ばしが多いなどの学習でお悩みのかたに対して、小児科・リハビリテーション科が連携し、学習を困難にしている原因を明らかにし、そのかたにあった学習方法を見つけることを目的に「学習支援外来」を開設しました。



糖尿病教室